

まち連 NEWS

平成 27 年 8 月 第 3 号 発行：一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会

『まち連ニュース』

第3号は、独立行政法人・中小企業基盤整備機構の「中心市街地活性化診断・サポート事業」を中心に、そのあらましをお伝えいたします。
このサポート事業は、中心市街地活性化協議会を通して申請し、7月に認定が決定したものです。

中小機構の支援

まち連ニュース第1号、第2号でお知らせいたしましたように、本年3月に『蕨市中心市街地活性化基本計画』が内閣府の認定を受けました。この基本計画には、当まち連が主体となって進めてい

く事業も数多く予定されています。

そこで、中心市街地の活性化に向けて、多様な関係者の調整を図り、合意形成の協議の場としてまちづくりを総合的に推進する役割を担う「蕨市中心市街地活性化協議会（中活協議会・牛窪啓詞会長）」では、まち連関連の事業推進のために、ぜひ、独立行政法人・中小企業基盤整備機構（中小機構）の支援を受けようと、同協議会を通して中小機構へサポートを申請。7月に正式に認定を受けることができました。

早速、7月中旬に2回にわたり中小機構を交え、中活協議会、まち連、そして猪瀬タウンマネージャーなど、関係者で事前打ち合わせを実施。今後の主なスケジュールや支援内容等が決まりました。

ので、その概要をお知らせいたします。

サポートは2事業

中小機構の支援メニューは「中心市街地活性化診断・サポート事業」で、実際にサポートが受けられるまち連の事業としては、①「ぶらっと」の改善支援と、②「日曜日の夕べ」確立支援の2事業です。

9月にセミナー

まず、①「ぶらっと」の改善支援につきまして、8月中旬に経営分析の実施。9月には、第1回検討会を兼ねてキックオフセミナーを9月15日の火曜日、午後7時30分から開催いたします。

講師は、先進的な事業展開で全国的に注目されている長野県佐久市の「岩村田本町商店街振興組合」理事長の阿部眞一氏です。

中活協議会では、経営意識をよりいっそう高めたいと、まち連はもとより商工会議所青年部など若手の皆さんにも広く参加していただこう、呼びかけていきたいと考えています。

10月に事例研究

また、10月には事例研究として「まちづくり会社とコミュニティカフェ」をテーマに、「多治見まちづくり」の小口英二氏をお迎えして、事例研究とともに第2回目の検討会を開催する予定となっています。

平成 27 年度第 2 回 正副理事長 委員長定例会議

7月28日、火曜日、午後3時からまち連事務所で第2回正副理事長・委員長の定例会議が開かれました。

冒頭、岡田理事長より、猛暑の中、体調に十分気を付け、まち連事業がスムーズに推進できるよう頑張りましょうとの挨拶で会議がスタート。

今回の『まち連ニュース』でお知らせしました中小機構のサポート事業について、中活協議会事務局でもある長谷川商工会議所事務局長からの概要説明に続いて、7月から「ぷらっと」の暫定活用について(株)マस्याさんとの契約が結ばれたことの報告。

また、中心市街地区域内の低未利用地の有効活用について、これまでまち連として温めていた、蕨市土地開発公社所有の旧国鉄貨物駅跡地の一部を当まち連が借り受け、新たな事業を展開してはどうかとの構想に対して、猪瀬タウンマネージャーから、遊休地の有効活用や中心市街地活性化への貢献、更には採算性の観点などから、一つの案として「ドッグラン(小型犬用)」の提案がありました。会議では、提案を含めて調査・研究を進めていくことで合意されました。

今後、この遊休地の有効活用については、会員の皆さんの声をお聞きしながら、事業展開に向けて多方面にわたる研究をしていきたいと考えています。

そのほか、8月29日に蕨市とわらびネットワークステーション共催の「まちづくり井戸端会議」へまち連として参加することなどが決定し、会議を終了しました。

次回第3回会議は8月20日。

「日曜日の タベ」確立支援につつま

一方、②の「日曜日のタベ」確立支援につつます。

日曜日のタベ事業

そのほか、消費者アンケートや若手ヒアリングなどを実施し、11月、12月には、経営課題の共有、経営改善の方向性及び経営組織の検討などを行い、来年1月に「ぷらっと」の改善支援の最終とりまとめとして報告会を開催する予定です。

しては、中心市街地区域内にある8つの商店街の現地視察や事業の実施状況の把握のほか、10月ごろに来街者アンケート、若手ヒアリングなどを実施。11月以降、事業推進による相乗効果や運営体制などの検討を重ね、来年1月には「ぷらっと」の改善支援と同じく報告会を開催し、「日曜日のタベ」事業の全商店街での実施に向けてのスタートを切る計画となつています。

大好評！わらび りんごサイダー



『中心市街地活性化基
本計画』事業の一つに
「わらびりんご」ビジネ
ス展開事業があります。
このほど、蕨市商工生
産管理団体(奥田光由会
長)などが中心となつて
開発した「わらびりんご
サイダー」が完成し、機

まつり期間中の8月8日、9日に1500本を販売。日本一極早生のりんごとあつて人気も上々。あつという間に完売しました。
今後、当まち連もこの事業推進の一翼を担う役割がありますので、蕨市の貴重な特産品としての「わらびりんご」を活用した商品の販売・購買機会の拡充など、中心市街地の新たな魅力づくりにも貢献していきたいと考えています。

編集後記

8月6日から9日まで開催された機まつりが終わり、朝夕ちよっぴりと秋の気配が感じられるようになりました。
機まつりといえば、当まち連でも、例年生ビールや各種焼酎飲料などの露店販売を行つています。
もちろんまち連のPRを兼ねてですが、事務局の元女性職員や娘さん、そしてお友達にもお手伝いいただき大盛況でした。